

日本工学院八王子専門学校		開講年度	2019年度（平成31年度）		科目名	運動器・上肢	
科目基礎情報							
開設学科	柔道整復科		コース名			開設期	前期
対象年次	1年次		科目区分	必修		時間数	30時間
単位数	2単位		授業形態	講義			
教科書/教材	教科書（柔道整復理論編 一般社団法人 全国柔道整復学校協会 監修一）に準拠する。						
担当教員情報							
担当教員	後藤 晃弘			実務経験の有無・職種	有・柔道整復師		
学習目的							
柔道整復師が業務を行うにあたって、まず筋肉がどのようにしているのか、深層になるのか、浅層にあるのか、起始はどこについているのか、骨なのか、膜なのか、停止はどこについているのか、どういった神経に支配されて筋肉を動かしているのか、どういった動きに作用されているのかを知らなければならない。上肢帯の骨と骨の各名称、骨と骨を連結している関節、筋肉を骨模型を用いながら理解することがねらいである。							
到達目標							
解剖学、特に人体解剖学はヒトの身体の構築を学ぶ学問である。運動器上肢に着目し、骨や筋肉の理解および探求する力を身につけるために、鎖骨から手指の骨までの骨の名称と一つの骨の中でどういった名称があるのかを理解すること、鎖骨から手指までの骨と骨が連結している関節の名称と関節の種類、関節を補強している靱帯を理解すること、鎖骨から手指までの筋肉の名称と筋肉がついている部分を理解すること、その筋肉を動かす指令を出している神経の名称を理解すること、その筋肉が収縮すると身体がどのように動くのかといった作用を理解することを到達目標とする。							
教育方法等							
授業概要	運動器上肢とは解剖学の基本であり、骨の名称や関節、筋肉の起始・停止などを理解し、患者さんへの説明に用いることができる学問である。運動器上肢に関する基礎知識を習得する。						
注意点	学生間・教員と学生のコミュニケーションを重視する。キャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める（詳しくは、最初の授業で説明）。ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。						
評価方法	種別	割合	備 考				
	試験・課題	100%	試験と課題を総合的に評価する				
	小テスト	0%					
	レポート	0%					
	成果発表 （口頭・実技）	0%					
	平常点	0%					
授業計画（1回～15回）							
回	授業内容			各回の到達目標			
1回	ガイダンス			人体の説明、骨模型の説明について理解する。			
2回	上肢骨(1)			肩甲骨の各名称を理解する。			
3回	上肢骨(2)			鎖骨、上腕骨の各名称を理解する。			
4回	上肢骨(3)			前腕骨の各名称を理解する。			
5回	上肢骨(4)			手根骨の各名称を理解する。			
6回	上肢骨(5)			中手骨、指骨の各名称を理解する。			
7回	上肢骨の関節(1)			肩関節、肩鎖関節、肘関節の構成について理解する。			
8回	振り返り(1)			1回～7回までの振り返り			
9回	上肢骨の関節(2)			橈骨手根関節、手根関節、CM・MP・PIP・DIP関節の構成について理解する。			
10回	上肢帯の筋肉			上肢帯の筋肉の起始・停止。支配神経、作用を理解する。			
11回	上肢の筋肉(1)			上肢の筋肉（上腕の筋肉）の起始・停止。支配神経、作用を理解する。			
12回	上肢の筋肉(2)			上肢の筋肉（前腕屈筋の筋肉）の起始・停止。支配神経、作用を理解する。			
13回	上肢の筋肉(3)			上肢の筋肉（前腕伸筋の筋肉）の起始・停止。支配神経、作用を理解する。			
14回	上肢の筋肉(4)			上肢の筋肉（手の筋肉）の起始・停止。支配神経、作用を理解する。			
15回	振り返り(2)			9回～14回までの振り返り			